

(4月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		10,642	95	12,898	93	100	90	2	0	千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉産の春大根は概ね前年並みの生育で品質も良好。トンネルものは4月上旬がピークとなる見込み。全体の入荷量・価格は前年並の見込み。
にんじん		7,387	90	8,026	136	120	149	-	-	千葉産が早めに切り上がるため、徳島産中心の入荷となり全体の約7割を占める。徳島産は、3月中旬から出荷が始まっているが、昨年秋の台風による播種の遅れから、本格出荷は後半にずれ込む見込み。全体の入荷量は豊作であった前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
はくさい		7,097	100	6,881	65	95	67	0	0	茨城産中心の入荷で全体の9割以上を占める。茨城産の生育は概ね順調、玉張りもほぼ前年並み。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。
ほうれんそう		1,650	100	1,647	400	100	403	0	0	群馬、埼玉、千葉、茨城の関東産が市況をリードする。各産地とも、露地、ハウスともほぼ順調な生育。入荷量・価格とも前年並の見込み。
キャベツ類		17,992	100	18,565	79	115	89	-	-	神奈川、愛知、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。神奈川産は3月下旬から春キャベツの本格出荷をむかえ、生育・品質ともに概ね良好。愛知産は比較的好天に恵まれ、小玉傾向であったものが回復してきている。千葉産は、昨年の長雨や寒波の影響により、生育はやや遅れ気味で小玉傾向となっている。全体の入荷量は前年並であるが、高値で推移しており、今後とも大きな価格の崩れはなく価格は前年を上回る見込み。
ねぎ		4,293	100	4,253	232	95	231	8	0.2	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約8割を占める。両産地とも3月下旬から春ねぎへ切り替わっており、生育は概ね順調。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		7,938	100	7,775	170	90	134	-	-	茨城、香川、兵庫産中心の入荷で全体の約8割を占める。茨城産は、生育は若干遅れ気味で小玉傾向であったが回復傾向にあり、出荷量はほぼ前年並の見込み。香川産は現在10日程度生育が遅れており、出荷ピークは4月中旬頃になる見込みだが、肥大は良好で2L、1L中心の出荷となる見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。
きゅうり		7,919	97	7,807	174	115	205	0	0	埼玉、千葉、群馬、茨城の関東産中心の入荷で全体の約9割を占める。関東の各産地とも、4月に本格出荷をむかえるが、生育は概ね順調。全体の入荷量はやや多かった前年をやや下回り、価格は安値であった前年を上回る見込み。
なす		3,515	97	3,633	278	110	301	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約7割を占める。高知産は、生育は概ね順調であるが、作付面積の減少により出荷量は前年をやや下回る見込み。福岡産は長なす中心となるが、生育は概ね順調で前年並の出荷量となる見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
トマト		8,395	98	8,176	274	105	323	-	-	栃木、熊本、千葉、愛知産中心の入荷で全体の約5割を占める。栃木、千葉など関東産は着果は概ね良好であるが、3月の曇天続きにより着色が進まず、小玉傾向となっている。九州などの暖地ものも生育が遅れているが、ここに来て回復傾向にあり、出荷量はほぼ前年並の見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや上回る見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ピーマン		2,525	95	2,488	251	125	303	-	-	茨城、宮崎、高知産中心で全体の約9割以上を占める。各産地とも生育は概ね順調。全体の入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安値であった前年を上回る見込み。
ばれいしょ		9,478	100	9,876	152	95	146	-	-	北海道、鹿児島産中心の入荷となる。北海道産は産地在庫は前年の7割台で最終の5月まで前年を下回る出荷となる見込み。鹿児島産は2月下旬の寒波で芽吹いたものが被害を受け4月上中出しにやや影響がでてくる見込み。このため、全体の入荷量は少なかった前年並、価格は平年並みの見込み。
さといも		892	85	810	147	110	176	-	-	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約8割を占める。夏季の高温・干ばつの影響で小玉傾向となっている。入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
たまねぎ		14,228	95	14,476	93	120	87	-	-	佐賀、北海道産中心の入荷で全体の約8割以上を占める。北海道産は産地在庫が前年の7割程度となっており、例年どおりの4月下旬にほぼ終了する見込み。佐賀産は概ね順調な生育となっており、出荷量は前年並の見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回るが高値により輸入ものが増加してくることが予想される。